

事業成果報告書

1. 教育委員会名 : 長崎県五島市教育委員会
2. 研究主題 : 小規模校を存続させる場合の教育活動の高度化
3. 研究タイトル : 極小規模小中併設校の特色を生かした生きる力の育成
4. 研究課題 :
- ①少人数であることを最大限に生かした教育活動に関する研究
 - ・地域の良さを生かした特色ある活動（伝統行事、創作活動、地域貢献等）を実施し、魅力ある学校づくりを实践する。
 - ・本市教育施策のひとつである「小学校1年生からの英語教育」を、極少人数の小中併設校であるというメリットを生かし、故郷の特色を英語で発信できる実践的能力を身に付けさせる活動を実施する。
 - ・低学力や不登校といった課題を抱える留学生については、極少人数のメリットを生かした個別指導により課題解消を図る。
 - ②学校間ネットワークの構築
 - ・望ましい社会性発達のために、他校との交流学习や合同行事を定期的実施する。
 - ・一定の集団による練り合い、高め合いの経験を積ませるためにICT機器を活用した遠隔授業を定期的実施する。
 - ③児童生徒数の増加や児童生徒集団の多様性確保
 - ・地元住民の協力を得て、しま親制度による「しま留学生受入事業」を推進し、児童生徒数の増加を図る。そのことにより、児童生徒の固定化した人間関係に、留学生という新たな風を吹き込み、望ましい社会性を育成する。

5. 事業の実績

(1) 調査研究のねらい

2次離島にある学校は、地理的条件から学校統廃合ができない状況にあり、学級の複式化のみならず学年の在籍数が0名という学校もある。そこでは、一人一人に応じたきめ細かな学習指導等、極少人数のメリットを生かした教育が実践され、近隣校との交流学习や合同行事の開催によってデメリットを最小化する取組も行われている。2次離島の学校が地域活性の核となって存続していくため、平成28年4月から「しま留学生受入事業」を開始し、市外から児童生徒を取り込む施策も進めている。このような状況を踏まえ、キラリと光る特色を備えた、地域に貢献できる学校とするために、本研究に取り組み、小規模離島の学校のデメリットを最小化し、メリットを最大化する教育活動を実践する。

(2) 調査研究の実施状況（平成28年度）

5月	○研究指定校（久賀小中学校）訪問 → 研究の方向性確認と助言（25日）
6月	○第1回久賀しま留学連絡協議会開催（2日） ○五島市教育委員会⇔文部科学省で委託契約締結（20日） ○コーディネーター業務開始（20日～）
7月	○久賀島「海祭り」参加（18日） ○第1回奈留しま留学連絡協議会開催（19日）
8月	○研究指定校（久賀小中学校）訪問 → 研究の進捗状況確認と助言（29日）
9月	○久賀島「島民大運動会」参加（25日）

10月	○第1回推進協議会開催【委員10名】（24日） ○研修出張「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上」中間成果報告会 久賀中学校：橋本教諭参加（26日：文科省）
11月	○先進地視察（北海道鹿追町：坂本コーディネーター・久賀中の中村教頭） 10/31～11/2 ○外部有識者による研究指定校訪問（江頭明文教授、事務局同行）（2日） ○第2回久賀しま留学連絡協議会開催（10日） ○遠隔授業先進校視察（長崎市高島小中学校） 久賀小：野平教諭、久賀中：橋本教諭参加（28日）
12月	○第3回久賀しま留学連絡協議会開催（21日）
1月	
2月	○第2回推進協議会開催【委員10名】（6日） ○第4回久賀しま留学連絡協議会開催（14日） ○第2回奈留しま留学連絡協議会開催（14日）
3月	○1年次研究成果のまとめ

6. 事業の成果

(1) 研究課題に応じて設定した具体的目標に対する達成状況

<p>○学校への研究指定</p> <p>①魅力ある学校づくり（地域の良さを生かした特色ある教育活動の創造）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「島の宝発見プロジェクト」の推進により、久賀島の持つ「海の恵み」「山の恵み」「美しい風景」と「発信活動」を結び付けたふるさと学習が定着した。 <p>②小学校1年生からの英語教育（英語による情報発信力の育成）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語ルームの設置、英語スペースや掲示物の整備、英語での給食メニュー紹介と感想発表、中学生による英語絵本の読み聞かせなど、英語に親しむ環境を整備。 ・学習発表会での「五島市自慢」英文発表、英語スピーチの実践。 ・併設校の強みを生かしたカリキュラム作成と小中合同学習の実施。 <p>③他校との交流学习・合同授業（極少数人数では経験できない触れ合い活動の実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流学习 → 3小学校と計5回、2中学校と計4回 合計9回実施 ・合同行事 → 小（小体連りレー、修学旅行）中（中総体駅伝、修学旅行） <p>④遠隔授業（情報の拡大、表現力向上、思考の拡大を図る授業の実践）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現職教育でのICT機器活用研修、先進校視察（長崎市高島小中学校）、 ・遠隔授業の実施 → 2小学校と計2回、3中学校と計2回 合計4回実施
<p>○しま留学連絡協議会（コーディネーター）への研究委託</p> <p>①留学生及びしま親との連絡調整・相談・支援活動 → 9日</p> <p>②週休日や長期休業における留学生体験活動の企画・運営 → 11日 計20日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸での生き物観察、魚釣り体験、いも掘り体験、登山体験など実施 ・次年度留学希望家庭の現地見学案内、移住希望者の家探し ・各種会議出席、しま親宅の訪問など連絡調整等の業務 など
<p>○教育委員会施策として研究する内容</p> <p>①「しま留学生受入事業」の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H29年度目標は、久賀島5名、奈留島3名に対して、久賀島は継続2名、新規3名、移住による転入1名の計6名を確保。また、奈留島は新規4名を確保。 ・全国から、「しま留学」に関する問い合わせ30件弱。

(2) 成果物等

- 研究指定校（久賀小中学校）研究報告リーフレット
- 研修出張報告
 - ①「人口減少社会におけるICTの活用による教育の質の維持向上」中間成果報告会
 - ②遠隔授業先進校（長崎市立高島小中学校）
- 先進地視察報告
 - ①北海道：鹿追町「山村留学」視察

(3) 今後の取組予定

- 研究指定校の取組
 - ・「島でしかできない教育」「島だからこそやらなければならない教育」の整理実践
 - ・合同行事、交流学习のさらなる充実と遠隔授業実践の強化
- しま留学連絡協議会（コーディネーター）への研究委託
 - ・留学生及びしま親、実親との連絡調整の充実
 - ・留学生体験活動の計画的実施とスケジュール化
- 教育委員会施策としての「しま留学生受入事業」
 - ・H30年度目標（両島5名ずつ）達成に向けた広報活動の充実